

位置図

城前団地配水管路測量設計業務委託



業務委託箇所

1-1

1-2

1-3

1-4

つばくろ公園

つばくろ公園

社会福祉法人会津若松保育協会
若松第三保育園

業 務 委 託 設 計 書（ 金 抜 ）

業 務 番 号	令 和 6 年 度 第 119 号
業 務 名	城前団地配水管路測量設計業務委託
路 線 名	市道若3-191号線 外3路線
業 務 箇 所	会津若松市城前 地内
工 種	業務委託

工事概要	当初	
業務日数	172日	
管路測量	L=0.36km	
管路設計 φ 50mm～φ 100mm(開削工法)	L=0.36km	

履 行 理 由	本業務は、城前団地建替事業に係る配水管布設替工事に先立ち、管路の測量と設計を委託するものです。
仕 様	福島県土木部共通仕様書（業務委託編）によること。
摘 要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会津若松市発注工事等からの暴力団等排除措置要綱を遵守すること。 ・ 工事用資材等の購入・調達にあつては、地産地消の推進に努めること。 ・ 契約金額が100万円以上の場合はTECRIS(テクリス)に登録すること。
当初設計年月	令和6年4月

特記仕様書
(配水管路等測量業務委託編)

業務番号 令和 6 年度 第 1 1 9 号
路線名 市道 若 3 - 1 9 1 号線外 3 路線
業務名 城前団地配水管路測量設計業務委託
業務箇所 会津若松市城前 地内

第 1 章 総則

第 1 条 目的

本業務は、配水管布設替工事に伴う占用の測量調査を目的とする。

第 2 条 仕様等

本業務の履行にあたっては、福島県土木部共通仕様書（業務委託編）に基づき実施し、文書中「福島県」及び「発注者」とあるものは「会津若松市上下水道局上水道施設課」と置き換えるものとする。

第 3 条 業務の着手

本業務は、契約締結後 15 日以内（休日等は除く）に測量業務に着手しなければならない。この場合において、着手とは主任技術者が測量業務の実施のため監督員との打合せを行うことをいう。

第 4 条 主任技術者、社内審査員及び担当技術者

本業務で定める主任技術者及び社内審査員は、測量業務かつ水道施設設計及び維持管理の方法に十分な知識と経験を有するものとしなければならない。また、担当技術者を定める場合についても同様とする。

第 5 条 提出書類

受託者は、下記のとおり書類を提出しなければならない。

- (1) 着手届・・・契約後すみやかに
- (2) 主任技術者通知書および経歴書・・・同上
- (3) 業務計画書・・・契約締結後 10 日以内（休日等は除く）
- (4) 業務委託承諾書および協議書・・・事項が生じた後、すみやかに
- (5) 成果品および成果品目録・・・業務完了日までに
- (6) 社内審査報告書・・・同上
- (7) 業務委託完了届・・・業務が完了した日
- (8) その他の書類・・・監督員が指示した日までに

第 6 条 打合せ

本業務で定める主任技術者は、測量業務を適正かつ円滑に実施するため、監督員と常に密接な連絡をとり、業務の方針及び条件等の疑義を正すものとし、その

内容についてはその都度受託者が書面（打合せ記録簿）に記録し、相互に確認しなければならない。

第7条 業務計画書

受託者は、契約締結後 10 日以内（休日等は除く）に当該測量業務の業務計画書を作成し、監督員に提出し承諾を受けなければならない。またこれを変更する場合も同様とする。

業務計画書に記載する事項は下記のとおりとする。

(1) 業務概要・目的 (2) 業務工程表 (3) 業務組織図 (4) 主任技術者・社内審査員通知書および資格等写・経歴書 (5) 担当技術者届および資格等写・経歴書 (6) 作業実施方法および順序 (7) 打合せ計画 (8) 緊急時を含む現場連絡体制 (9) 使用機器 (10) 使用する図書および基準 (11) 成果品の内容、部数 (12) 社内審査計画 (13) 環境対策計画 (14) その他、監督員が指示したもの

第8条 貸与資料

本業務で受託者に貸与する資料は以下のとおりとする。

	項 目	名 称	数 量
1	道路台帳図	道路台帳図	1 式
2			

第9条 関係官公庁への手続き

受託者は、測量業務の実施に当たっては、発注者が行う関係官公庁への手続きの際に協力しなければならない。また、受託者は、測量業務を実施するため、関係官公庁に対する諸手続きが必要な場合は、速やかに行うものとする。

第10条 現場補償

測量のため、立木伐除補償の対象となるものについては、発注者負担とし、耕地および宅地等の踏む荒しによる立木等の補償は受託者が行うものとする。

第11条 地元住民との協調

受託者は測量の主旨を十分理解し、現場着手前や土地立ち入り等の際も、地元住民との十分な協調を保ち、いたずらに摩擦等を起こさぬよう、常に心がけなければならない。

第12条 現場管理

測量中は傷害、火災、その他事故発生を未然に防止するとともに、労働基準法およびその他の関係法規を守り、円滑に測量を行わなければならない。もし第三者に対し、事故損害等を生じせしめた場合の補償は、すべて受託者の負担とする。

第13条 基準点、測点の保護

受託者は、現場に設置した基準点（K B Mも含む）や測点の保護に充分留意し、測量完成後も明確にしなければならない。

第 14 条 業務の内容

本業務の内容は次によるものとする

(1) 測量業務

路線 番号	測量箇所	路線名	測量延長	備考
1-1	会津若松市城前 地内	市道 若 3-191 号線	L=235.0m	委託調書参照
1-2		市道 若 4-29 号線	L=80.0m	委託調書参照
1-3		市道 若 3-198 号線	L=25.0m	委託調書参照
1-4		市道 若 3-201 号線	L=20.0m	委託調書参照

(2) 測量内容について

	工 種	作 業 内 容
1	踏査選点測距測量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 測点間距離 L=20.0m 道路中心線 ・ 2, 3, 4 級 基準点測量
2	縦断測量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 縮尺任意 測点間距離 L=20.0m ・ 2, 3, 4 級 水準測量 ・ 図面作成 (トレース) ・ 現地調査及び現況修正作業あり
3	横断測量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 測量幅 W=20.0m ~ 30.0m ・ 縮尺 S=1/100 測点間距離 L=20.0m ・ 図面作成 (トレース) ・ 現地調査及び現況修正作業あり
4	平面測量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 縮尺 S=1/500 測点間距離 L=20.0m ・ 作成幅 W=30.0m まで ・ 図面作成 (トレース) ・ 現地調査及び現況修正作業あり
5	詳細測量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水路横断部 S=1/100 ・ 現地調査及び現況修正作業あり
6	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 舗装展開図 縮尺任意 測点間距離 L=20.0m ・ 地下埋設物調査図 縮尺任意

第 15 条 成果品

(1) 成果品については下記とおり提出するものである。ただし、ここでいう路線とは監督員の指示によるものとする。

1. 野帳及び計算簿類 路線毎に各 1 式
2. 精度管理表 路線毎に各 1 式
3. 基準点・測点記録簿 路線毎に各 1 式

4. 各種図面 下記表のとおり
5. 地下埋設物調査資料 路線毎に各 1 式
6. 社内審査報告書 1 部
7. 打合せ報告書 1 部
8. その他監督員が指示したもの

(2) 図面については以下のとおり提出のこと

成果品名	部数	提出部数の内訳
位置図	3 部	原図 1 部、青(白)図 1 部、青(白)図製本 1 部
平面図	3 部	原図 1 部、青(白)図 1 部、青(白)図製本 1 部
縦断図	3 部	原図 1 部、青(白)図 1 部、青(白)図製本 1 部
横断図	3 部	原図 1 部、青(白)図 1 部、青(白)図製本 1 部
詳細図	3 部	原図 1 部、青(白)図 1 部、青(白)図製本 1 部
舗装展開図 (区画線復旧図含む)	3 部	原図 1 部、青(白)図 1 部、青(白)図製本 1 部
地下埋設物調査図	3 部	原図 1 部、青(白)図 1 部、青(白)図製本 1 部

(3) その他

図面については別紙調書および下記の内容に従いの図面を提出するものとする。

1. 図面サイズは原則 **A 1 版**とする。
(会津若松市上下水道局上水道施設課様式)
2. 位置図 (1/10000) ・ 平面図 (1/500) ・ 横断図 (1/100、測点毎) ・ 縦断図 (任意縮尺) ・ 舗装展開図 (任意縮尺、面積計算を表示) ・ 区画線復旧図 (任意縮尺) ・ 各種詳細図 (任意縮尺) ・ 地下埋設物調査図 (1/500) を原図・第 2 原図・陽画とし、提出する。
3. 原図については電子データによる提出とする。その場合のデータ形式は J Wとし、会津若松市上下水道局上水道施設課にて監督員による動作確認をうけるものとする。電子データの作成に関しては監督員と協議のこと。
4. 成果品 (各種図面除く) は **正 1 部、副 1 部、電子データ 1 部**とする。

第 16 条 環境に対する配慮

受託者は会津若松市が定めた環境方針に賛同し、業務を遂行しなければならない。

第 17 条 検査

受託者は完了検査を受けるにあたり、社内審査を実施し、結果について監督員に報告しなければならない。

完了検査は委託者の命ずる検査員の指示により検査を行うものとし、主任技術者が必ず立ち会うものとする。

完了検査に要する費用、また検査結果により手直しが生じた場合に要する費用は、すべて受託者が負担する。

検査の結果、手直しが生じた場合は、速やかに検査員の指示に従い訂正すること。

第 18 条 テクリスへの登録

受託金額が 100 万円以上の場合、受託者は速やかにテクリス（財団法人日本建設情報総合センター）へ登録すること。登録の際は事前に監督員による「登録のための確認のお願い」の内容確認を受けること。また登録後は「登録内容確認書」を監督員に提出すること。設計変更が生じた場合についても同様とする。

第 19 条 守秘義務

受託者は測量等の設計の際に知り得た秘密等を第三者に漏らしてはならない。

第 20 条 受発注者の責務

受注者は、測量業務の適正な実施のために必要な技術的能力の向上、情報通信技術を活用した測量業務の実施の効率化等による生産性の向上並びに技術者の育成及び確保並びにこれらの者に係る資金、労働時間その他の労働条件、安全衛生その他の労働環境の改善に努めなければならない。

第 21 条 保険加入の義務

受注者は、現場作業が発生する場合は、法定外の労災保険に付さなければならない。

第 22 条 その他

受託者は監督員と連絡を密にし、円滑に作業をしなければならない。

第 2 章 作 業

第 23 条 留意事項

- (1) 測量の範囲は、契約書によるもののほか監督員の指示によるものとする。
- (2) 踏査、選点については必ず監督員が立会うものとする。
- (3) 設計の際の利便性を理解し地形の変化点、地下埋設物（マンホール、仕切弁篋等）などの所要箇所には必ず測点を設けること。
- (4) 地下埋設物にあたってはもれなく調査し、位置や形状等について地下埋設物調査図に記入すること
- (5) 舗装展開図の調査・作成については設計の際の利便性を理解し、歩車道の区別、舗装の種類、取り付け道路部分の展開等を留意すること。
- (6) 数値の図示方法については福島県土木部監修土木設計マニュアル（設計数量編）に準じること。また数値基準については厚生労働省水道工事国庫補助歩掛に準じること。
- (7) 会津若松市公共工事コスト縮減新行動計画に基づき工事施工時におけるコスト縮減について測量業務に反映させること。
- (8) 屋外で作業、調査を行う場合は業務委託関係者だけでなく、周辺住民、通行者及び通行車両等の第三者の安全確保と事故防止に努めなければならない。

第 24 条 その他

作業にあたっては監督員と連絡を密にして履行すること。

特記仕様書
(水道施設設計業務委託編)

業務番号 令和 6 年度 第 1 1 9 号
路線名 市道 若 3 - 1 9 1 号線外 3 路線
業務名 城前団地配水管路測量設計業務委託
業務箇所 会津若松市城前 地内

第 1 章 総則

第 1 条 目的

本業務は、配水管布設替工事实施のための設計を目的とする。

第 2 条 仕様等

本業務の履行にあたっては、福島県土木部共通仕様書（業務委託編）および（社）日本水道協会水道施設設計業務委託標準仕様書に基づき実施し、文書中「福島県」および「発注者」とあるものは「会津若松市上下水道局上水道施設課」と置き換えるものとする。

第 3 条 業務の着手

本業務は、契約締結後 15 日以内（休日等は除く）に着手すること。この場合において、着手とは管理技術者が設計業務の等の実施のための監督員との打合せを行うことをいう。

第 4 条 合同現地踏査

発注者及び受注者は、合同で現地踏査を実施するものとする。実施時期については、業務着手後速やかに行うことを原則とする。

なお、合同現地踏査は 1 回の実施を想定している。

第 5 条 貸与資料

本業務で受託者に貸与する資料は以下のとおりとする。

番号	項目	名称	数量
1	水道工事竣工図	竣工図（PDF）	1 式
2	会津若松市給配水管台帳図	会津若松市給配水管台帳図（PDF）	1 式

第 6 条 管理技術者、照査技術者および担当技術者

本業務で定める管理技術者および照査技術者は水道施設設計および水道施設の維持管理の方法に十分な知識や経験を有するものでなければならない。また担当技術者を定める場合についても同様とする。

第 7 条 提出書類

受託者は、下記のとおり書類を提出しなければならない。

- (1) 着手届・・・契約後すみやかに
- (2) 管理技術者、照査技術者通知書および経歴書・・・同上
- (3) 業務計画書・・・契約締結後 10 日以内（休日等は除く）
- (4) 業務委託承諾書および協議書・・・事項が生じた後、すみやかに
- (5) 成果品および成果品目録・・・業務完了日までに
- (6) 業務委託完了届・・・業務が完了した日

(7) 照査報告書・・同上

(8) その他の書類・・監督員が指示した日までに

第8条 打合せ

本業務で定める主任技術者は、業務を適正かつ円滑に実施するため、監督員と常に密接な連絡をとり、業務の方針及び条件等の疑義を正すものとし、その内容についてはその都度受託者が書面（打合せ記録簿）に記録し、相互に確認しなければならない。

第9条 業務計画書

受託者は、契約締結後10日以内（休日等は除く）に当該設計業務の業務計画書を作成し、監督員に提出し承諾を受けなければならない。またこれを変更する場合も同様とする。

業務計画書に記載する事項は下記のとおりとする。

(1) 業務概要・目的 (2) 業務工程表 (3) 業務組織図 (4) 管理技術者・照査技術者通知書および資格等写・経歴書 (5) 担当技術者届および資格等写・経歴書 (6) 業務実施方法および順序 (7) 打合せ計画 (8) 緊急時を含む現場連絡体制 (9) 使用機器 (10) 使用する図書および基準 (11) 成果品の内容、部数 (12) 照査計画 (13) 環境対策計画 (14) その他、監督員が指示したもの

第10条 水道施設等の設計に関する一般事項

水道施設の設計業務の実務については日本水道協会水道施設設計業務委託標準仕様書Ⅱ水道施設設計編と下記の特記事項に基づき実施すること。

- (1) 水道施設の設計については法令に適合したものでなければならない。
- (2) 日本水道協会水道施設設計指針、同水道維持管理指針、同水道施設耐震工法指針・解説、全国簡易水道協議会水道事業実務必携、その他設計に必要な指針等に基づき行うこと。
- (3) 水道施設等の設計は、正確かつ丁寧に行い、強度、耐久性、経済性、維持管理のし易さ、衛生および環境・美観等の諸要素を考慮の上、行わなければならない。
- (4) 設計にあたっては、現地をよく調査し、地形等の条件、他工事の施工計画との関連および技術的条件等をよく考慮して、現地に合致する設計を行わなければならない。また法規、各施工基準等に基づき適切な計画、各種計算、図面作成を行うこと。使用した法規、各施工基準等については明らかにするとともに適切な作業段階において監督員へ都度、説明協議を行うこと。
- (5) 概算工事費算出に使用する積算基準については福島県土木部監修土木工事積算基準、建築関係積算基準、厚生労働省水道施設整備費に係る歩掛表を使用すること。これに難しい場合は他公的機関が監修または発行する基準書等を用いることができる。また特殊工事等の積算については事前に監督員と協議すること。なお、見積りによる積算の場合の見積もりは5社以上とする。
- (6) 設計に計上する管材料については事前に監督員の承認を受けたものとする。
- (7) 資材単価については諸種の物価版を使用すること。これに難しい場合は見積

もりを徴収すること。ただし見積もりは3社以上とする。

第10条2 主要構造物等の設計に関する特記事項

- (1) 次のいずれかの設計を行う場合は、選定理由書を作成すること。
- ①配水池等の設計・・・配水池等の構造、基礎杭の決定根拠
 - ②水管橋設計・・・水管橋上部工、下部工のタイプ決定根拠
 - ③推進工設計・・・推進工法、立坑工法の決定根拠
 - ④その他の主要構造物設計・・・工法の決定根拠
- (2) 工法決定については3点以上で比較検討を行い、工法比較検討書を作成すること。工法比較検討書には構造特性、施工性、経済性、維持管理、環境、安全性の観点から選定したことを説明できる資料を添付すること。
- (3) 工法決定における経済性検討の資料については建設コストと合わせて維持管理コストを含めた総コスト（費用対効果 B/C）で作成すること。

第11条 本業務の内容

本業務の内容は以下のとおり

路線番号	項目	数量	内容
1-1	管路設計（開削工法）	L=0.235km	管路詳細設計 DIP(GX形)φ100mm
1-2	管路設計（開削工法）	L=0.080km	管路詳細設計 DIP(GX形)φ100mm
1-3	管路設計（開削工法）	L=0.025km	管路詳細設計 DIP(GX形)φ100mm
1-4	管路設計（開削工法）	L=0.020km	管路詳細設計 PPφ50mm

第12条 成果品

- (1) 成果品については下記とおり提出するものである。
- 1. 主な計画書・検討書 各1部
※選定理由書、工法比較検討書、経済性比較を含む
 - 2. 検討結果一覧表 各1部
 - 3. 主な構造計算書等 各1部
 - 4. 各種図面 下記表による
 - 5. 数量計算書（会津若松市上下水道局上水道施設課様式） 各1部
 - 6. 設計書（概算） 各1部
 - 7. 照査報告書 1部
 - 8. 打合せ報告書 1部
 - 9. 関係機関への申請書の写し 1部（業務内容にある場合）
 - 10. 見積書 各1式
 - 11. その他監督員が指示したもの

- (2) 図面については以下のとおり提出のこと。

成果品名	部数	提出部数の内訳
位置図	3部	原図1部、青（白）図1部、青（白）図製本1部
設計平面図	3部	原図1部、青（白）図1部、青（白）図製本1部
設計縦断図	3部	原図1部、青（白）図1部、青（白）図製本1部

設計横断図	3部	原図1部、青（白）図1部、青（白）図製本1部
舗装展開図	3部	原図1部、青（白）図1部、青（白）図製本1部
区画線復旧図	3部	原図1部、青（白）図1部、青（白）図製本1部
付帯工図	3部	原図1部、青（白）図1部、青（白）図製本1部
標準土工図	3部	原図1部、青（白）図1部、青（白）図製本1部
管割図	3部	原図1部、青（白）図1部、青（白）図製本1部
その他	3部	監督員の指示による

（３）その他

1. 図面サイズは原則 A 1 版 とする。
（会津若松市上下水道局上水道施設課様式）
2. 位置図（1/10000）・平面図（1/500）・横断面図（1/100、測点毎）・縦断面図（任意縮尺）・舗装展開図（任意縮尺、面積計算を表示）・区画線復旧図（任意縮尺）・各種構造物および施工詳細図（任意縮尺）その他監督員が指示した図面を提出する。
3. 原図については電子データによる提出とする。その場合データ形式は JWW とし、会津若松市上下水道局上水道施設課にて監督員による動作確認を受けたものとする。電子データの作成に関しては監督員と協議のこと。
4. 成果品の提出部数について（各種図面除く）は 正 1 部、副 1 部 とする。
5. 成果品は正副の他、電子媒体で 1 部 提出すること。

第 13 条 環境に対する配慮

受託者は会津若松市が定めた環境方針に賛同し、業務を遂行しなければならない。

第 14 条 照査

（１）照査技術者による報告

照査技術者は発注者が指示する業務の節目及び業務が完了した時は、照査について発注者に報告するものとする。

なお、照査技術者自身による照査報告は 1 回を想定している。

（２）確実な照査の実施

受注者は、照査について、設計図面、設計計算書及び数量計算書等（以下、設計図面等）について、それぞれ及び相互の整合を確認する上で、確認マークをするなどわかりやすく確認結果を示し、間違いの修正を行うための照査（以下「赤黄チェック」という）を原則として行う。

なお、赤黄チェックの資料は監督員から請求があった場合は速やかに提示しなければならない。

また、照査技術者は成果品納入時の照査報告において、設計図書等における照査を適切に実施した結果（赤黄チェック）の根拠となる資料を示すことができるものを提示する。

第 15 条 検査

受託者は完了検査を受検するにあたり、事前に照査技術者による成果物の内容の技術上の照査を行い、結果について監督員に報告しなければならない。その結果により、必要であれば監督員が現地確認を行う。なお、受注者はその現地確認に立ち会わなければならない。

完了検査は委託者の命ずる検査員の指示により検査を行うものとし、照査技

術者および管理技術者が必ず立ち会うものとする。完了検査に要する費用、また検査結果により手直しが生じた場合に要する費用はすべて受託者が負担する。検査の結果、手直しが生じた場合は、速やかに検査員の指示に従い訂正すること。

第 16 条 テクリスへの登録

受託金額が 100 万円以上の場合、受託者は速やかにテクリス（財団法人日本建設情報総合センター）へ登録すること。登録の際は事前に監督員による「登録のための確認のお願い」の内容確認を受けること。また登録後は「登録内容確認書」を監督員に提出すること。設計変更が生じた場合についても同様とする。

第 17 条 受発注者の責務

受注者は、測量業務の適正な実施のために必要な技術的能力の向上、情報通信技術を活用した測量業務の実施の効率化等による生産性の向上並びに技術者の育成及び確保並びにこれらの者に係る資金、労働時間その他の労働条件、安全衛生その他の労働環境の改善に努めなければならない。

第 18 条 保険加入の義務

受注者は、現場作業が発生する場合は、法定外の労災保険に付さなければならない。

第 19 条 その他

受託者は監督員と連絡を密にし、円滑に作業をしなければならない。

第 2 章 作業

第 20 条 留意事項

- (1) 設計実施前には必ず監督員の立会いを求めて現地を確認すること。
- (2) 地形の変化点、地下埋設物（マンホール、仕切弁筐横断暗渠等）などの必要な箇所には必ず測点を設けること。
- (3) 舗装展開図の調査・作成については、歩車道の区別舗装の種類、取り付け道路部分の展開図および面積計算とすること。
- (4) 数値の図示方法については福島県土木部監修土木設計マニュアル（設計数量編）に準じること。また数値基準については厚生労働省水道施設整備費に係る歩掛表及び福島県土木部監修土木設計マニュアルに準じること。
- (5) 設計業務を履行する際は、工事の施工方法を検討しかつ、監督員の指示に基づき履行すること。
- (6) 工事施工時におけるコスト縮減について設計業務に反映させること。
- (7) 屋外で作業、調査を行う場合は業務委託関係者だけでなく、周辺住民、通行者通行車両等の第三者の安全確保と事故防止に努めなければならない。

総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	B7 会津若松市上下水道局 実施設計書 当初 24560000119 0 1 実施単価 51 L (会津若松1) 地区 00-06.04.01(0) 4 業務委託 24560000119当初城前団地配水管路測量設計業務委託		
	当 世 代		前 世 代
前払率 測量調査発注区分 冬期割増 設計発注区分 旅費交通費区分	30 00 建設コンサルタント 00 冬期割増なし 00 建設コンサルタント 09 積上げ		

工種条件

条件	条件値	名称
A 水替費区分	0	水替費なし
	1	水替費あり
B 山林砂防工置き換え区分	0	山林砂防工置き換えなし
	1	山林砂防工置き換えあり
C 特殊勤務費[円]		

測 量 及 び 試 験 費 内 訳 表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
測量費						X1000
測量業務						Y1981
管路測量						Y2981
		1	式			工種 第0001号表
電子成果物作成費(F)						Z0014
			式			
電子成果物作成費(測量業務) 直接人件費入力						SA900 00
		1	式			施工 第0 -0006号表
直接経費計						
直接測量費計						
諸経費						
			式			
測量業務価格						
業務委託料 (まるめ)						

測 量 及 び 試 験 費 内 訳 表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
設計業務						X6000
設計業務						Y1991
管路設計						Y2991
		1	式			工種 第0002号表
打合せ協議						Y2992
		1	式			工種 第0003号表
電子成果物作成費(D)						Z0014
			式			
電子成果物作成費(概略、予備又は詳細設計) 直接人件費入力(中間技術審査を除く)						SC900 00
		1	式			施工 第0 -0011号表
直接経費計						
直接原価						
その他原価						
			式			
業務原価						
一般管理費等						
			式			
業務価格						

測 量 及 び 試 験 費 内 訳 表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
業務委託料	(まるめ)					
業務価格計						
消費税等相当額計			式			
委託費計						

工 種 明 細 表

頁0-0005

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
管路測量 Y2981					工種 第0001号表
作業計画（路線測量）					SA100 00 060401
	1	業務			施工 第0 -0001号表
現地踏査（路線測量） 平地 市街地乙					SA105 00 060401
	0.36	km			施工 第0 -0002号表
縦断測量 平地 市街地乙					SA135 00 060401
	0.36	km			施工 第0 -0003号表
横断測量 平地 市街地乙					SA140 00 060401
	0.36	km			施工 第0 -0004号表
路線製図（平面図作成）					SA165 00 060401
	0.36	km			施工 第0 -0005号表
*** 単位当たり ***					
	1	式			

管路設計 Y2991					工種 第0002号表
管路設計詳細 小口径（管径350mm以下） 開削工法（布設替）					V1001 00 060401
	1	業務			施工 第0 -0007号表
合同現地踏査					SC063 00 060401
	1	回			施工 第0 -0008号表
照査技術者による報告					SC064 00 060401
	1	回			施工 第0 -0009号表
*** 単位当たり ***					
	1	式			

工 種 明 細 表

頁0-0006

[illegible]

施 工 内 訳 表

頁0-0008

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
現地踏査（路線測量） SA105 平地 市街地乙	1	km			施工 第0 -0002号表
測量技師 （外業） [5 5 %]	1.60	人			R1020
測量技師補 （外業） [6 0 % (3/1以降 5 5 %)]	1.40	人			R1030
機械経費	2.00	%			#01
材料費	7.50	%			#01
変化率					+00
*** 単位当たり ***	1	km			
A=1 平地 B=1 市街地乙 C=3 1千台未満 / 12時間 D=1 設計業務等標準積算基準 1 - 2 - 1 6					

施 工 内 訳 表

頁0-0009

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
縦断測量 SA135 平地 市街地乙	1	km			施工 第0 -0003号表
測量技師 (外業) [5 5 %]	1.60	人			R1020
測量技師補 (外業) [6 0 % (3/1以降 5 5 %)]	1.80	人			R1030
測量助手 (外業) [5 5 % (3/1以降 6 0 %)]	1.40	人			R1040
測量技師 (内業) [5 5 %]	1.30	人			R5020
測量技師補 (内業) [6 0 % (3/1以降 5 5 %)]	1.10	人			R5030
測量助手 (内業) [5 5 % (3/1以降 6 0 %)]	0.50	人			R5040
機械経費	2.50	%			#01
材料費	3.00	%			#01
精度管理費	10.00	%			#02
変化率					+00
*** 単位当たり ***	1	km			
A=1 平地 B=1 市街地乙 C=3 1千台未満 / 1 2 時間 D=1 設計業務等標準積算基準 1 - 2 - 2 0					

施 工 内 訳 表

頁0-0010

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
横断測量 SA140 平地 市街地乙	1	km			施工 第0 -0004号表
測量技師 (外業) [5 5 %]	6.40	人			R1020
測量技師補 (外業) [6 0 % (3/1以降 5 5 %)]	7.20	人			R1030
測量助手 (外業) [5 5 % (3/1以降 6 0 %)]	5.30	人			R1040
測量技師 (内業) [5 5 %]	3.90	人			R5020
測量技師補 (内業) [6 0 % (3/1以降 5 5 %)]	3.40	人			R5030
測量助手 (内業) [5 5 % (3/1以降 6 0 %)]	1.50	人			R5040
機械経費	2.50	%			#01
材料費	3.00	%			#01
精度管理費	10.00	%			#02
変化率					+00
*** 単位当たり ***	1	km			
A=1 平地 B=1 市街地乙 C=1 単曲線換算曲線数 0 D=2 測点間隔 2.0 m E=1 幅 4.5 m未満					

施 工 内 訳 表

頁0-0011

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
F=3 G=1 1千台未満 / 12時間 設計業務等標準積算基準 1 - 2 - 2 0					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
路線製図（平面図作成） SA165	1	km			施工 第0 -0005号表
測量技師 （内業） [5 5 %]	0.70	人			R5020
測量技師補 （内業） [6 0 % (3/1以降 5 5 %)]	1.40	人			R5030
測量助手 （内業） [5 5 % (3/1以降 6 0 %)]	1.40	人			R5040
材料費	1.50	%			#01
歩掛の補正					+00
変化率					+00
*** 単位当たり ***	1	km			
A=2 B=1 C=1 D=1 トレスのみ 縮尺 1 / 5 0 0 測量幅 3 0 m 設計業務等標準積算基準 参 2 - 2 - 4					

施 工 内 訳 表

頁0-0012

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
電子成果物作成費(測量業務) SA900 直接人件費入力	1	式			施工 第0 -0006号表
電子成果品作成費	1.00	式			
*** 単位当たり ***	1	式			
A= B=1 設計業務等標準積算基準 1 - 1 - 9					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
管路設計詳細 V1001 小口径(管径350mm以下) 開削工法(布設替)	1	業務			施工 第0 -0007号表 特単単価適用日: 06年04月01日
主任技師 (内業) [5 5 %]	1.981	人			R5430
技師(A) (内業) [5 5 %]	5.516	人			R5440
技師(B) (内業) [5 5 %]	7.925	人			R5450
技師(C) (内業) [5 5 %]	6.747	人			R5460
技術員 (内業) [5 5 %]	4.980	人			R5470
*** 単位当たり ***	1	業務			

施 工 内 訳 表

頁0-0013

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
合同現地踏査 SC063	1	回			施工 第0 -0008号表
主任技師 (外業・現地踏査) [5 5 %]	0.50	人			R5432
技師 (B) (外業・現地踏査) [5 5 %]	0.50	人			R5452
*** 単位当たり ***	1	回			
A=1 設計業務等標準積算基準 3 - 2 - 2					

照査技術者による報告 SC064	1	回			施工 第0 -0009号表
主任技師 (内業) [5 5 %]	0.50	人			R5430
*** 単位当たり ***	1	回			
A=1 設計業務等標準積算基準 3 - 2 - 2					

施 工 内 訳 表

頁0-0014

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
打合せ（県内業者）（設計業務） SC050 打合せ回数3回(中間技術審査を除く) 標準歩掛 A（業務難易度が標準的な場合）	1	式			施工 第0 -0010号表
往復交通費	3.00	日			TI850
基準日額（主任技師） 直接人件費 [5 5 %]	1.50	日			R5430
基準日額（技師 A） [5 5 %]	1.50	日			R5440
基準日額（技師 B） [5 5 %]	1.50	日			R5450
*** 単位当たり ***	1	式			
A=1 標準歩掛 A（業務難易度が標準的な場合） B=3 打合せ回数(2以上、中間技術審査を除く) C=1 設計業務等標準積算基準 3 - 2 - 1					
*****	*****	*****	*****	*****	*****
電子成果物作成費(概略、予備又は詳細設計) SC900 直接人件費入力（中間技術審査を除く）	1	式			施工 第0 -0011号表
電子成果品作成費	1.00	式			
*** 単位当たり ***	1	式			
A= 設計業務等標準積算基準 3 - 1 - 4 B=1					

城前団地配水管路測量設計業務委託

管路詳細設計

1. 小口径(管径350mm以下)

○布設替、詳細

○配水管口径・延長 L=360. 0m(0. 36km)

φ100mm L=340. 0m(0. 34km)、φ50mm L=20. 0m(0. 02km)

実務必携歩掛P208

(1業務あたり)

	主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
(県単R6.04.01)							

	主任技術者	技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員
現地調査			0.8	1.8	3.4	3.3	3.2
図面作成			0.7	1.5	3.3	3.3	2.7
数量計算			0.7	1.9	3.6	3.6	3.4
審査			0.5	1.1	1.5	1.4	
報告書作成			1.0	4.0	3.0	1.0	
計			3.7	10.3	14.8	12.6	9.3
管径補正			0.900	0.900	0.900	0.900	0.900
床付深さ補正(2.0m未満)			0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
延長補正			0.85	0.85	0.85	0.85	0.85
設計条件補正			1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
工事案件数補正			0.5355	0.5355	0.5355	0.5355	0.5355
補正率			1.981	5.516	7.925	6.747	4.980
補正後							

【補正】

- (1) 管径補正係数 = $360 \times 0.90 / 360$ = 0.900
- (2) 延長補正係数 = 0.70 (複数口径の合計延長) 360 = 360 m
- (3) 設計条件補正係数 = 0.85 (指数合計) 3+3+1 = 0.85
- (4) 工事案件数による補正 = $1.0 + 0.1 \times (1-1)$ ※案件数1件 = 1.00

委託業務調書

委託番号： 令和6年度 第119号
委託名： 城前団地配水管路測量設計業務委託
委託箇所： 会津若松市城前 地内

1. 測量業務

路線番号	測量箇所	地形	地物	交通量	路線名	延長	備考
1-1	城前6-9地先 ～ 城前8-1地先	平地	市街地乙	1千台未満／12時間	市道 若3-191号線	L＝235.0m	
1-2	城前6-6地先 ～ 城前6-23地先	平地	市街地乙	1千台未満／12時間	市道 若4-29号線	L＝80.0m	
1-3	城前6-23地先 ～ 城前9-20地先	平地	市街地乙	1千台未満／12時間	市道 若3-198号線	L＝25.0m	
1-4	城前9-20地先 ～ 城前9-28地先	平地	市街地乙	1千台未満／12時間	市道 若3-201号線	L＝20.0m	
測量延長(路線番号1-1～1-4)					合 計	L＝360.0m ＝0.36km	

(1) 測量委託内容について

業務委託工種名など		内容
作業計画	作業計画	・測量業務の実施にあたっての事前準備、作業計画策定等
管路測量	現地踏査(路線測量)	・測点間距離 L＝20.0m、道路中心とする
	縦断測量	・縮尺任意、任意の仮BM設置含む
	横断測量	・縮尺1/100、測点間距離 L＝20.0m、作成幅 W＝45.0m未満、舗装展開図(任意縮尺)作成・面積計算を含む
路線製図	平面図作成	・道路台帳等のトレース作業、縮尺1/500・縮尺1/100、測点間距離 L＝20.0m ・作成幅 W＝30.0mまで、現況修正作業あり、地下埋設調査図作成を含む

(2) 測量業務における成果品(図面関係)について

成果品名	提出部数	大きさ	提出部数の内訳	備考
位置図	3部	A1	原図1部 、 青(白)図1部 、 青(白)図製本1部	1/10000程度
平面図	3部	A1	原図1部 、 青(白)図1部 、 青(白)図製本1部	1/500、1/100
縦断図	3部	A1	原図1部 、 青(白)図1部 、 青(白)図製本1部	縮尺任意
横断図	3部	A1	原図1部 、 青(白)図1部 、 青(白)図製本1部	1/100
舗装展開図	3部	A1	原図1部 、 青(白)図1部 、 青(白)図製本1部	面積計算あり
区画線復旧図	3部	A1	原図1部 、 青(白)図1部 、 青(白)図製本1部	縮尺任意
地下埋設調査図	3部	A1	原図1部 、 青(白)図1部 、 青(白)図製本1部	1/500
その他	3部	A1	監督員の指示による	

※原図は、電子データ(CD-ROM)による提出とし、ファイル拡張子はJWWとする。
※青(白)図は測量成果品綴りに添付する。
※青(白)図製本は、路線毎にまとめ、インデックスを取り付ける。
※図面タイトル等は会津若松市上下水道局上水道施設課仕様による。
※測量区間内に公共基準点がある場合は、平面図に明記の上オフセット測量を行うこと。

委託業務調書

委託番号： 令和6年度 第119号
委託名： 城前団地配水管路測量設計業務委託
委託箇所： 金津若松市城前 地内

2. 設計業務

路線番号	設計箇所	設計内容	管種	口径	路線名	延長	備考
1-1	城前6-9地先 ～ 城前8-1地先	管路設計 開削工法 (詳細)	DIP(GX形)	φ100mm	市道 若3-191号線	L=235.0m	
1-2	城前6-6地先 ～ 城前6-23地先	管路設計 開削工法 (詳細)	DIP(GX形)	φ100mm	市道 若4-29号線	L=80.0m	
1-3	城前6-23地先 ～ 城前9-20地先	管路設計 開削工法 (詳細)	DIP(GX形)	φ100mm	市道 若3-198号線	L=25.0m	
1-4	城前9-20地先 ～ 城前9-28地先	管路設計 開削工法 (詳細)	PP	φ50mm	市道 若3-201号線	L=20.0m	
設計延長(路線番号1)					合 計	L=360.0m =0.36km	

(1) 設計委託内容について

業務委託工種名など		内容
管路設計 (開削工法)	現地調査	・設計路線の踏査、業務上必要な地下埋設物及び支障物件(電柱、架空線等)の具体的調査、在来管等の調査、 渉外折衝の立会い。
	図面作成	・位置図、平面図、縦断面図、詳細図(平面、縦断、横断図等)、構造図及び工事占用申請に必要な図面。
	数量計算・工事費算出	・工事に必要な数量すべての計算で数量計算書を作成する。また、概算工事費を算出する。
	審査	・基本条件確認、比較検討の確認、設計計画の妥当性、計算書と図面の整合性、計算書の精査等。

(2) 設計業務における成果品(図面関係)について

成果品名	提出部数	大きさ	提出部数の内訳	備考
位置図	3部	A1	原図1部、青(白)図1部、青(白)図製本1部	1/10000程度
平面図	3部	A1	原図1部、青(白)図1部、青(白)図製本1部	1/500、1/100
縦断面図	3部	A1	原図1部、青(白)図1部、青(白)図製本1部	縮尺任意
横断面図	3部	A1	原図1部、青(白)図1部、青(白)図製本1部	1/100
舗装展開図	3部	A1	原図1部、青(白)図1部、青(白)図製本1部	面積計算あり
区画線復旧図	3部	A1	原図1部、青(白)図1部、青(白)図製本1部	縮尺任意
管割図	3部	A1	原図1部、青(白)図1部、青(白)図製本1部	FREE
詳細図	3部	A1	原図1部、青(白)図1部、青(白)図製本1部	縮尺任意
その他	3部	A1	監督員の指示による	

※原図は、電子データ(CD-ROM)による提出とし、ファイル拡張子はJWWとする。